

ぜんしゅうきょう

全宗協



2016
7月
July

通巻83号

第29回通常総会を富山で開催!!

平成28年5月24日(火)、北越地区の富山国際会議場にて第29回通常総会が開催されました。総会の出席状況は、組合員数360名に対して、組合員出席者80名、委任状出席者229名、合計309名で出席率は85.8%となりました。定款38条に定める総会成立条件の過半数を超え、本総会は有効に成立いたしました。

◆一日目(五月二十四日(火))

午前中は三役会、午後からは各委員会・ニューリーダー部会・役員会、その後十五時より第二十九回通常総会が開催され、役員改選が行なわれました。司会は西春貞男専務理事。全国中小企業団体中央会会長大村功作様より祝電をいただきました。講演会では「PRAY for(ONE)」の立ち上げに深くかかわっていただきました(株)東北博報堂 代表取締役副社長 香中峰秋氏に「PRAY for(ONE)生活者視点で、顧客創造を」という演題でお客様側に視点を変えたお話をいただきました。これは我が業界が置かれている立場を鑑みて、「PRAY for(ONE)小さな祈りのプロジェクト」についてもっと理解を深めようということ、大変参考になるご講演でした(↓P4〜P5に掲載)。その後ホテルに場所を移し久乗編鐘の音楽で皆様をお迎えし、懇親会が始まりました。高岡市郷土民謡「弥栄節(やがえふ)」の上演を拝見し、土地の恵みを活かした味わい豊かな料理を囲みながら各テーブルを



司会の西春貞男氏

◆二日目(五月二十五日(水))

北越地区の皆様のご協力でのエクスカーション、及び親睦ゴルフコンペが滞りなく行なわれました。今回のエクスカーションは「立山コース」と「高岡コース」の2種類あり、どちらも参加者の皆様に満足いただける内容となっております。

◆通常総会

小堀理事長より総会ご挨拶

第二十九回総会開催に当たり、北越支部の皆様には大変なご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。我々の業界は、それぞれの事業所や所属している団体で販売計画・経営戦略を立てておりますが、横ばいを維持するのが精一杯で業績を上げるのは大変な現状だと思えます。しかし、業績云々より前に、

マジシャンが周る演出で大いに盛り上がりました。最後に開催大鍵の伝達が行なわれ、一日目を終了しました。

私どもの業界を支えてくれている日本人の心が廃れてしまうことが危惧されます。それを何とかしなければということ、「PRAY for(ONE)」の取り組みを始めた。明後日から伊勢志摩サミットが開催され、国際協調やグローバルゼーションという言葉が新聞紙面を飛び交っています。政治・経済ではもはや自国だけで決めることが難しくなっており、例えば為替においても海外のこを意識しなければ決められません。政治・経済の側面では国際協調の中で揉まれるのはやむを得ないことですが、日本人がこれまで大切にして来た生活文化・習慣などは日本人の個性として維持していかなければならないと思えます。



挨拶をする小堀賢一理事長

日本人の倫理観は海外からも高く評価されています。それが国際協調・グローバルゼーションの波にも呑み込まれてしまえば、各家庭にお仏壇があるという日本独特の



会場の富山国際会議場

【目次】

P1	通常総会
P2	各委員会事業報告
P3	懇親会、地区協議会役員及び委員名簿
P4~P5	講演会 香中峰秋氏
P6	エクスカーション、ゴルフコンペ事務局からのお知らせ

— 各委員会事業報告 —

■ 総務委員会

①全国研修会

平成27年10月7日～8日(水・木)、メルパルク京都にて第1回全国研修会を開催。計6名の外部講師による講演、内部講師1名によるワークショップを開催。11時間に亘る内容の濃い研修となった。

平成27年2月23日(火)、(株)エッサム神田ホールにて第2回全国研修会を開催。『PRAY for(ONE)小さな祈りのプロジェクトとは何か』

(株)博報堂 ひぎたよしあき氏のご講演。

②会報を事業計画に基づき、7月、12月、3月と年3回発行した。

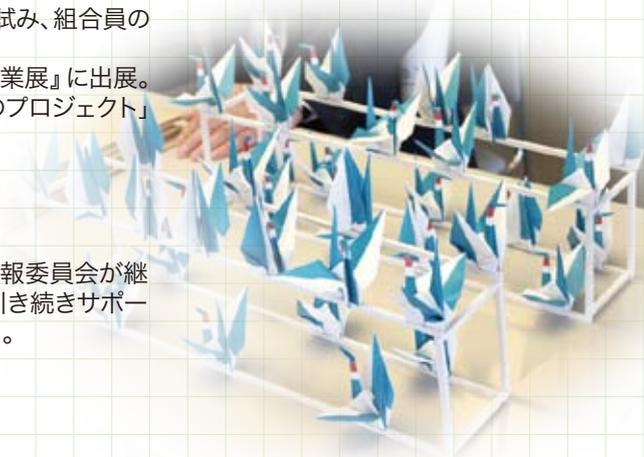


■ 広報委員会

「PRAY for(ONE) 小さな祈りのプロジェクト」について。ポスター、オリジナル祈り鶴、缶バッジを作成し組合店舗にてPR 展開。

10月8日(木)全国研修会にて、広報委員長によるワークショップを試み、組合員の活発な意見を集約しアイデアマップを会報と共に配布。

12月8日(火)～10日(木)東京ビッグサイトにて『エンディング産業展』に出展。祈り鶴による祈りの文化の発信と、「PRAY for(ONE) 小さな祈りのプロジェクト」のプレゼンテーションを行なった。



■ 事業委員会

来年の30周年に向けた認定証の製作について。また、一昨年から広報委員会が継続している「PRAY for(ONE) 小さな祈りのプロジェクト」の事業を引き続きサポート、2020年東京オリンピック・パラリンピックまで後方支援していく。仏事コーディネーター試験報告。

■ 正常化委員会

- ①会員から寄せられた情報により、不当表示が疑われる対象を消費者庁に告発した。
- ②漆塗りの施行規則が改定されたので、会報を通じて会員に告知した。
- ③「仏壇表示問題白書」発行に協力並びに助成をした。

■ 会員増強委員会

4月 組合事務局にて、議題・会員増強に繋がるホームページを模索につき、鎌倉新書清水社長と意見交換。

5月 全宗協パンフレットを新たに作成、平成27年度議案書とともに全組合員に各3部ずつ会員増強用に配布した。



■ ニューリーダー部

①平成27年5月19日(火) NL部総会

②平成27年11月11日(水)、12日(木) 東京研修会

東京ディズニーリゾートセミナー受講
岩田仏壇製作所様現場研修、滝田商店様店舗視察

③役員会(年5回開催)

④平成27年10月7日(水)、8日(木) 組合研修(1)

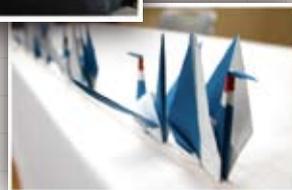
「PRAY for(ONE) 小さな祈りのプロジェクト」をもっと知ろう
「祈りと感謝」のこころをどう経営に活かすか

⑤平成28年2月23日(火) 組合研修(2)

「PRAY for(ONE) 小さな祈りのプロジェクト」の発展のために
ご講演 (株)博報堂 ひぎたよしあき様



10月と2月に開催された全国研修会では、「PRAY for(ONE) 小さな祈りのプロジェクト」について様々な講演をお聞きする中で理解を深める事ができ、また部員それぞれがプロジェクトの内容を有効に活用する術を見つけることが出来たと確信しています。



ホタルイカや白エビなど
富山の名物料理を贅沢に堪能

懇親会

懇親会では、400年の伝統を誇る高岡市郷土民謡「弥栄節（やがえふ）」の公演を拝見しました。ひたむきな心意気、息遣いを歌と踊りに込めた鑄物職人たちの作業唄です。高岡銅器の多くは仏具関係が占めていますので、全宗協とも深いご縁にあります。

今回の総会開催地、北越地区協議会会長 木本隆久氏から小堀理事長へ開催大鍵の返還、そして次年度開催地東海地区協議会会長 小室健次郎氏へ開催大鍵の伝達が行なわれました。



北越地区協議会より開催大鍵の返還

次年度開催の東海地区協議会へ

木本隆久 北越地区協議会会長 ご挨拶

皆様ようこそ富山へお越しくださいました。昨年の5月に神戸で大鍵を受けてからその後地区で会合を開き、富山市で開催すると決定してから昨日まであっという間に過ぎて参りました。北陸の美味しいものをたんと準備させていただき、しっかりと食べて、明日のエクスカッションに臨んでいただければ幸いです。今日は本当にどうもありがとうございました。



次年度の総会開催は東海地区 30周年記念回



小室健次郎 東海地区協議会会長

皆さんこんばんは。今日は北越地区の皆様たいへんお世話になりました。ありがとうございます。このような立派な総会がまた来年できますように、東海地区の全会員でこれから色々勉強して努力してまいりたいと思っております。



杉浦伸司 実行委員長

来年の総会は名古屋の一番便利な場所で開催いたします。北越地区に負けないように東海地区、静岡・岐阜・三重・愛知の4県で総力を合わせ皆様方をお迎えしたいと思っております。30周年ということで皆様、お仲間をたくさんお誘い合わせのうえ大勢で名古屋までいらしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

《新役員名簿》

役職名	代表者名	役職名	代表者名	役職名	代表者名	役職名	代表者名	役職名	代表者名
理事長	小堀賢一	常任理事	吉田光宏	理事	安田元慶	理事	橋本晃一	理事	中原博
副理事長	池田典明	常任理事	佐倉弘	理事	坂田晴義	理事	神戸良司	理事	今山秀人
副理事長	八田守立	常任理事	高山正	理事	山田宗宏	理事	伊藤晃	理事	森正
副理事長	白川十郎	常任理事	木下進	理事	廣川勝彦	理事	中田信浩	理事	岩佐武彦
副理事長	小室健次郎	常任理事	江頭那将	理事	山口敏雄	理事	中造和夫	理事	野上嗣之
専務理事	西春貞男	相談役	安田松慶	理事	河田栄治	理事	山中誠人	理事	東純一
常任理事	保志康徳	理事	丸屋輝夫	理事	水野清仁	理事	濱田明彦	監事	本保実
常任理事	前田平成	理事	升谷昇平	理事	横井浩	理事	松谷和美	監事	山本晴彦
常任理事	木本隆久	理事	松野智幸	理事	川喜田彰	理事	横田正登	監事	前田平八
常任理事	杉浦伸司	理事	川本恭央	理事	岡林靖之	理事	今浦公博	理事 45	監事 3
									相談役 1

《地区協議会役員及び委員名簿》（平成28年度～平成29年度）

●委員長 ○副委員長

地区	地区協議会会長	地区協議会副会長	総務委員会	広報委員会	事業委員会	正常化委員会	会員増強委員会
北海道 東北	八田 守立	升谷 昇平 丸屋 輝夫	升谷 昇平 藤村 義郎	●保志 康徳 小嶋 長一	丸屋 輝夫 佐々木文巳	小野 隆市 兒玉 高周	八田 守立 佐藤仁一郎 渡部 徳章
関東 甲信	前田 平成	坂田 晴義 山田 宗宏	松野 智幸	川本 恭央	鳥居 邦夫 辻 幸明	山田 宗宏	小森規興志 小仲 正克 前田 平成
北越	木本 隆久	本保 実	廣川 勝彦 関 秀道	山口 敏雄 木本 隆久	●池田 典明 大竹 正信 星野 幸博	笠原他喜雄 大越 則夫 岐津 晃平	藤田 整司 竹澤 恵子 吉田 竹也
東海	小室健次郎	杉浦 伸司 河田 栄治	杉浦 伸司 山田 宗宏	○横井 浩 川喜田 彰	小室健次郎 長坂 憲樹	岡林 靖之 水野 清仁	○河田 栄治 柴山 義幸 河野 善孝
京滋	吉田 光宏	田中 雅一 橋本 晃一	●吉田 光宏 刑部 正巳 土屋 隆 大久保 武	三浦 豊隆	○伊藤 晃	加茂 定治 神戸 良司	●橋本 晃一 小林 大介 畑 正高
阪奈 兵和	佐倉 弘	濱田 明彦 山中 誠人	山中 誠人 中田 信浩	濱田 明彦	○中造 和夫	佐倉 弘 松谷 和美	福井 正彦 下村 暢作
中国	高山 正	今浦 公博	今浦 公博 中谷 哲夫	高山 正 藤田 孝夫	田戸 孝雄 中原 博	横田 正登	三村 邦雄
四国	木下 進	森 正	木下 進 田中 嘉男 福井 高夫	立花 孝文 世良 美和	吉本 康彦 依岡 敏治 高久保一幸	●森 正 岩佐 武彦	上林 幸則 岸本 耕三 今山 秀人
九州 沖縄	白川 十郎	東 純一	○江頭 那将	野上 嗣之	東 純一	○白川 十郎	吉川 和毅 中島 康憲
担当 副理事長			小室健次郎	小室健次郎	池田 典明	白川 十郎	八田 守立

講演

「PRAY for(ONE)」

生活者視点で、顧客創造を」

香中 峰秋氏
かなか みねあき

プロフィール

1961年、長野県岡谷市生まれ。茨城県の筑波大学を卒業後、1984年に株式会社博報堂に入社。30年間ビジネスプロデューサーを行い、一昨年の4月より東北博報堂にて現職に。

私は博報堂で三十年間ビジネスプロデューサーをやっておりました。その視点から「PRAY for(ONE)」と、社会の変化についてのお話をさせていただければと思っています。

まずお仏壇の定義とは何でしょうか？「お仏壇とは日本における仏教の礼拝施設である」。皆さん、これは正しいでしょうか？ 後半にもう一回同じような問を投げかけます。

世の中高齢化とか少子化とか言われていますが、実際に数字を見てみますと、昨年九十五万人が生まれました。二〇二五年には七十八万人、二〇三〇年には七十五万人と推定されています。亡くなる人は昨年一三〇万人。これが二〇三〇年には一六一万人になります。これは皆様にとりビジネスチャンスですか？ はたまた市場規模の縮小でしょうか？ 販売機会は増えるけど、買ってくれる人は減っていく。そして恒例の単独世帯。昨年は五六一万世帯。それがこの先十年で六七一万世帯。全国平均ではあと十二年後には四分の一が空き家に

なる。皆様のご商売にもすごく影響して行く。さらに高齢者が増えるとスーパーに行くのも大変になり、暮らしくくなる。高齢化で生活基盤が崩れていくということ。また、東南アジアの人々の平均年齢は二十二歳とすごく若い。日本の平均は四十六、七歳。二〇二五年には推定で五十歳になります。その中でどうマーケティング活動をやっていくのかということも大きな課題になります。企業にはこれに対応する兆しが始まっています。超高齢化、人口減少は当たり前ですが、単身世帯の増加でビジネスチャンスの兆しがある。「二極化」です。これまでは富裕層と中間層の上下の二極化でしたが、今は「価値軸の二極化」が始まっている。これは何でしょうか？ レトルトカレーです。カレーのイメージを想像して下さい。家族の姿を思い浮かべませんか？ とところが「単独世帯」が既に標準世

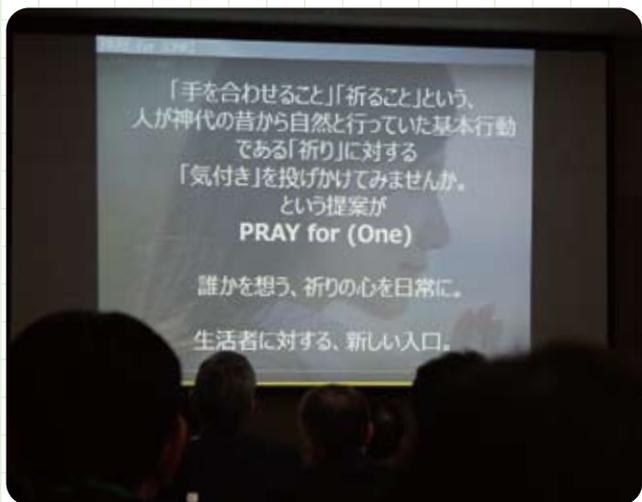
帯になっている今、かつてのように家族でカレーの大鍋を囲むようなマスマーケティングが無くなり、カレーもいろんな味を楽しめる、そういう生活者のスタイルに合わせたマーケティングが変わってくる。次に「価値軸の二極化」。一人の人の中に「これだ」というのと「これがいい」という二つの価値が併存している。これも平均年齢五十歳の時代の新しい兆しです。日常の中に二つの価値軸を持っている。もう一つ、「都市と地方」。地域独自に育まれた価値を全国に展開しているという動きです。これらの事象から見えてくるもの。例えば「素材」、「個」、「作り手の顔」、「作った人とのつながりを考える」、「物に対する思い入れ」、「そこから生まれる独自の価値」など。これは「パワーブランド」から「ファイน์ブランド」へと価値軸を置き換えていく兆しだろうと読んでいます。これまでは強い物が市場を席捲するという「パワーブランド」が主流でした。「ファイน์」は「きめ細かい」という意味で捉えてください。「自社の特徴をいかに最大化するか」ということです。では「ファイน์ブランド」を作っていくためのキーポイント。その一つが「物語の重要性」。お客様が満足するかに語る、自社の社員と語り合う。お客様が「伝道師」になるということ、社外に営業部がもう一つあるのと同じ事なのではないでしょうか。

さて、お仏壇ではそういう関係になっているでしょうか。買ってくれた後は薄い関係になってはいないでしょうか。人口減少や単独世帯が増えて購入者層が減るからこそ固い輪を作っていくことが大事ではないかと思えます。そこで私が提案する切り口が「物語」です。業界の皆様が当たり前と思っている事が、一般の方々には「なるほど」

と思うことが沢山ある。それをお客様に「見える化」する、伝えることによって、お客様が持っているという価値をより高めてあげることができる。どんどん語ってくれる人を増やして行くことも重要な要素です。

お仏壇について資料を拝見しまして「初めて聞いた」「こんなことだった」という事がたくさんあります。お仏壇の起源について幾つかの説がある、或いは宗派によって色々な違いがある、本来写真は飾らない、引越をしたら還座式を行なう、毎月二十七日が仏壇の日、等々。一つひとつの「物語」が見えてくると、購入された人は「語りたくありません。それが広がっていくと、「価値」や「知識」でつながるファンが生まれてくる。語れる物を如何に提供していけるかということ

次に、十三歳から二十九歳までの若者の生活者意識の各国比較データです。まず自己認識。「自分自身に満足しているか」の問いに、他の諸国は八割が満足しているのに対して日本は半分以下。「自分は親から愛されていると思うか」については、日本は三十五・二%。「自分に対して誇りを持っているか」についても、強く思っているのは他国に比べては少ない。「忍耐力」についても、日本人の若者の六割は持っていない。フランスは持っている子が八割です。「自分は賢いと誇りを持っている」のは半分以下。さらに「自分は真面目」と思っている人がどんどん減ってきている。「社会に役に立っている」「充実している」と思わない人が四割もいる。「将来に希望がある」と答えた人が十二%。八人に一人です。「宗教が日々の心の支えになっていますか」では、「そう思う」が三・五%。どちらかと言えば「をいれても十八%。八割以上の人が「思わない」「分からない」。これが海外との大きな違いです。



日本の未来は大丈夫でしょうか？

もう一つ。「年老いた親を養うことについてはどう思うか」について、「どんなことをしても養う」というのが海外と比べて大きく違う。これらの数字を見て各国と日本人に、こんなに意識の差があることに驚きました。自分に自信が無く、親から大切にされていないと感じ、忍耐・努力・まじめに誇りが持てず、社会のために役立っていることに充実感を感じない一人ぼっちで寂しさを感じ、将来の希望を持っていない。宗教では救われないう感じ、年老いた親を養いたい、積極的ではない、という若者像が見えてくる。次の時代はこうなりますよという時代の転換が数値の上から見えてくる。博報堂生活総合研究所のデータでは、「信じるものは何ですか？」に対し、「人の善意がトップですが、この中で「宗教」はずっと九番手ぐらいです。男女とも「お金」が「愛」を超えて二位に上がってきています。「宗教を信じる」は全体では二十一・九％。年齢や性別・地域での差がありますが、全体的に低下傾向。「宗教を信じない」は、二十代ばかりではなく年齢の高い層でも上がってきている。「靈魂を信じる」では「宗教を信じる」よりも高い。「運命を信じる」は高い。全世代的に宗教心は低下傾向で推移しています。このような生活者に対し、どのように「コミュニケーションすればいいのでしょうか。

もう一つのアプローチ。軸を変えて言葉を再定義します。

長野県に阿智村という所があります。夜になると『真つ暗で何も見えない』『でも、『真つ暗だと星が一番綺麗に見える』。これが「軸を変えることによる言葉の再定義」です。星に特化すると他とは違う価値を打ち出せる。「スタービレッジ」ということで星に関する活動をどんどんやっていき、さらに「天空の楽園」のナイトツアーも行ない成功しました。

「神社」を再定義してみましよう。神社という存在は宗教云々というより「伝統文化・地

域コミュニティを継承する所」。建物や立地、奉納行事、礼儀作法は勿論、精神的な安定が得られる場所。住民が共感できる気持ちを得られることで神社がその土地の未来を変えていく力になると思います。

「お仏壇」を再定義してみましよう。購入する側から見ると「位牌を置く所」「故人の新しいお部屋」。購入を今は全く考えていない人にとっては「まだ見ぬ子孫に会える場所」。購入した人にとっては「手がかかる置物」「掃除しにくい」など。



日々手を合わせている人にとってはどうでしょう？「故人と会話ができる場所」「亡き妻

とデートができる場所」などと再定義できないでしょうか。私の再定義では「誰かを思う扉」です。お仏壇の立場からすれば「何でも聞いてあげるよ」という物。逆の立場からみればこう言えるのではないかと。

今回資料を整理してしましたら、面白いサービースを見つけた。お墓を綺麗にするサービス」というのもあります。すごく興味を持ちました。これも再定義できるのではないかとチャレンジしてみました。「お墓を守る人の心を支えるサービス」と置き換えてみました。再定義というのは難しいことかもしれませんが、軸を変えてみることは大きなことだと思えます。

最後の話は「入り口を作る」。私どもがお手伝いさせてもらっている「PRAY for (ONE) 小さな祈りのプロジェクト」は、宗教用具にかかわる皆さんの存在、活動を、軸を変えて生活者とコミュニケーションするアクションであると思っています。

縄文の祈りの土偶という物があります。紀元前の頃から人は祈っていたという事の証です。阿修羅像も手を合わせています。「手を合わせる」と「祈ること」という、人が神代の昔から自然と行なっていた基本行動である「祈り」に対する「気づき」を投げかけてみませんか。という提案が「PRAY for (ONE)」。誰かを想う、祈りの心を日常に。生活者に対する新しい入り口ではないでしょうか。

「PRAY for (ONE)」のサイトに著名人の言葉が掲出されています。【以下抜粋】作曲家の三枝成彰さんー私にとつての「祈り」とは、待つことかもしれない。目に見えない何かに懸命に向き合い、待ち続けること。そんな愚直な、形のない祈りの積み重ねこそが、私を作曲家たらしめてくれるのだと思っている。

アーティスト日比野克彦さんー「祈り」とは見えていないもの、見えないものに対する期待。予測できないもの、自分の力ではどうしようもないものに対する不安の回避手段。表象的には表れないものを形にするメディア。写真家浅井慎平さんー祈りには節理、永遠、静寂、神秘などがオーバーラップしている。いのちもまたその内にある。祈りはこころから心の安穩への透明な願望なのだとはぼくは考えはじめている。

宗教のことを語って下さいと言ったらこれらの言葉が出てくるでしょうか。「手を合わせて祈る」ということが「入り口」だからそういう言葉が出てきたのではないのでしょうか。

人口減少・超高齢化、真面目、勤勉、親思いがなくなり、宗教心が薄く、高齢単身世帯があふれる。平均年齢五十歳の日本。「祈り」が入り口になり、生活者が変わっていくというアクションが大きな力を作っていく。これが「PRAY for (ONE)」なのではないかと私は思っています。

フラインブランドの下、間口の広い根源的入り口「PRAY for (ONE)」を持っていることで、その入り口を使って切り口としての物語、もう一つの切口としての「再定義」を考え提案していくことによって、市場や顧客と向き合っていく。そんなアプローチの仕方があるのではないのでしょうか、ということが私が一番伝えたいことです。

ご清聴ありがとうございました。



● オプションツアー ●

立山コース

幹事：株式会社 木本佛具店 木本 隆久 氏

貸し切りバスで立山アルペンルートへ7:30出発。この時期にしかできない雪の大谷ウォークをしました。標高は2450m。今年は暖冬で雪が少なかったそうですが、それでも10m近くある雪の壁は圧巻でした。昼食はイタリアンレストランの「フィオーレ ディ ファリーナ」。オーナーに料理の説明をしていただきながら、富山の食材をふんだんに取り入れたイタリアンを味わいました。



雪の大谷で記念撮影



昼食は富山料理とイタリアンのコラボレーション

高岡コース

幹事：株式会社 山文商会 山本 義章 氏

高岡へのエクスカーションは13名の参加で行ないました。国宝・瑞龍寺(ずいりゅうじ)拝観、及び御車山(みくるまやま)会館見学等を通じて、日本文化遺産都市・高岡の歴史の一端に触れる事が出来ました。また、日本有数の鑄物の街・高岡の仏具製造の見学を通して鑄物を学び、最近流行の彫金仏具の作業現場も併せて見学する事が出来ました。参加された方々は皆、しきりに感心されていました。お天気にも恵まれ、大変充実したツアーとなりました。



各所の見学ではみなさん真剣に見入っていました



彫金仏具の作業現場

親睦 ゴルフコンペ

呉羽カントリー倶楽部での親睦ゴルフコンペ。

雨の予報でしたがお天気もなんとかもち、みなさんで親睦を深めることができました。



優勝：笠原 哲人さん
(笠原昇雲堂 専務 北越地区)

準優勝：前田 憲一さん
(株式会社 日本堂 社長 関東甲信地区)

第三位：今浦 公博さん
(有限会社 今浦佛具店 社長 中国地区)

ベストグロ賞：福井 正彦さん
(株式会社 福井仏具店 社長 阪奈兵和地区)



ゴルフコンペのみなさんと

幹事：株式会社 本保 本保 実氏

事務局からのお知らせ

1. 当面のスケジュール

- ◆平成28年7月5日(火)～6日(水)
フューネラルビジネスフェア2016
(パシフィック横浜・ブース出展)
- ◆平成28年8月22日(月)～24日(水)
エンディング産業展2016
(東京ビッグサイト・ブース出展)
- ◆平成28年10月5日(水)～6日(木)
第一回全国研修会(メルパルク京都)

🌸熊本地震のお見舞いを申し上げます。

2. 組合関係者の訃報(平成28年4月1日～平成28年6月20日)

【東海地区】

(株)小長井仏具本店 代表取締役 小長井 由朗様(ご本人)
平成28年4月9日 62歳(東海地区協議会副会長)